行事報告書(自主活動)

報告者:　森永啓司

行 事 名	甲山探鳥会1月会
実施日時	2025年2月6日(木曜日) 9:30～12:20　　天候: 晴
場 所	武庫川
参加人員	13名　(内訳 MNC 6名 、 一般参加 7名)
参加者	MNC　　西岡、池田、藤裏、森本、森永(由)、森永(啓) 一般参加　　遠藤、佐藤、山田、山下、別所、野口夫妻　　(敬称略)
観察鳥	鳥数　39種 オカヨシガモ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、カワアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、オオバン、イカルチドリ、イソシギ、ユリカモメ、ミサゴ、トビ、ハイタカ、カワセミ、コゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、イワツバメ、エナガ、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、カワラヒワ、アオジ
観察概要	参加者感想 前日から時折雪のチラつく空模様でしたが、青空が広がり風もなく絶好の観察日和となりました。集合場所の尼崎西武庫公園では、倒木の上でメジロが出迎えてくれ、カワラヒワのキリリリという声が木のてっぺんで聞こえ、これから行く武庫川左岸が楽しみになってきました。 土手を降りて川岸から水鳥を観察し、カワセミがいた！という参加者の声で一斉に双眼鏡がその小さな青い背中を追いかけます。じっと木の枝に止まってくれているのでゆっくり観察できました。 甲武橋の北側は氷が張っていて、晴れているものの、手がかじかむ冷たさですが、ジョウビタキのメスが可愛い目で飛びまわり、ギーという声で見上げた上にコゲラがチョロチョロ動いていました。 髭の渡しの先でシジュカラ、エナガの混群がいましたが、樹木も草もすっかり刈られていてシメ、ベニマシコ、アトリには出会えなかったのはとても残念でした。 気を取り直して水辺に目を向けると、カンムリカイツブリ、イカルチドリ、カワアイサがいて双眼鏡でその姿がよく見えました。 地上ではアオジが近くにいて肉眼でも見えるほどゆっくり観察でき、タヒバリも見ることができました。イワツバメは高い空を集団で飛び回っていて、ユリカモメも集団で空を移動していましたが、空を見上げるたびにひっきりなしに飛行機が離陸しているのには、今更ながら驚きでした。 少し先に行くと、オジロトウネンがいますよ、と鳥の常連さんが教えてくださいましたが、愛護センター付近で予定の時間となり解散、バスで武庫之荘駅へ向かう人、歩いて西武庫公園へ帰る人それぞれ別れましたが、直後六甲山が白くなり雪もチラついて急速に寒くなってきました。 (記　森永(由)) 大寒波襲来、MNCの他行事と重なる中、思いの他多くの参加者が有りました。武庫川もご多分に漏れず、近年飛来する種数はそれ程変わりませんが、総数は減っていますので、どうなるかと不安でしたが、予想を超える種数が観られたのは何よりです。目玉と思っていたベニマシコのポイントの河原が見事に伐採されており、残念乍ら見つける事は出来ませんでしたが、人気者のカワセミ、この時期ならではの、タヒバリ、綺麗なカワアイサが観られ、おまけとしてイワツバメの集団もその姿をみせてくれました。　(記　森永(啓))
連絡事項	次回は３月６日（木）服部緑地公園を予定しています。まだトモエガモが残って居れば良いのですが。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

観察出来た鳥達（写真撮影　西岡さん）

カワアイサ♀

カワアイサ♂

イカルチドリ

ジョウビタキ♂

ジョウビタキ♀

シロハラ

コゲラ

アオジ♀

セグロセキレイ

イカルチドリ

タヒバリ

オカヨシガモ♂